

「在学届」の記入上の注意点等と記入例

1. 奨学生番号は、奨学金の借用・給付が終了しているもののうち採用年度の「新しい番号」を記入すること。

奨学生番号の記入例

(例) 698カ65432

奨学生番号									
記号									CD
6	9	8	カ	6	5	4	3	2	X

(例) 819-04-654321

奨学生番号											
記号									CD		
8	1	9	0	4	6	5	4	3	2	1	X

2. 借用・給付終了後の学校名は、借用・給付が終了したもののうちで最後に貸与された学校名を記入すること。

3. 姓は左につめてカタカナで記入し、ダク点、半ダク点は、1コマ使用すること。

(姓の6コマ以上、及び名は書かなくてよい。)

(例) 円城寺和子

姓(カタカナ)					
エ	ン	シ	ヽ	ヨ	

(例) 青木昭子

姓(カタカナ)			
ア	オ	キ	

4. 卒業予定期は、現在在学中の学校の正規の最短修業期の年を西暦の下2桁で記入すること。

なお、留年・休学などで正規の最短修業期を超えたときは、その卒業予定期を記入して提出すること。

また、卒業予定月が3月ではない場合は、3と記載のあるところに二本線を引き、上部余白に正しい月を記入すること。(訂正印不要)

5. 在学年数は、次の(1)～(4)のいずれかの年数を記入すること。

(1) 1年次入学(学士入学を含む)のときは、そのときから正規の最短修業期までの年数

(2) 休学、その他の事由で卒業が延期となったときは、その延びる年数

(3) 辞退、廃止などにより在学期間中に借用・給付が終了したときは、そのときから卒業するまでの年数

(4) 留年した者及び大学・短期大学・専修学校の通信教育課程又は放送大学の全科履修生として

在学する者は「1」を記入し、1年ごとに提出すること。

※在学期間が1か月～11か月の場合は、「1」と記入すること。

6. 専修学校については、学校の電話番号(担当者名)及び修業年限も記入すること。

7. 早期卒業・退学等で届出の在学期間が短くなった場合

卒業等により在学猶予を受ける資格がなくなります。提出済みの在学期間は短縮となりますので必ず

「在学届」の在学期間短縮欄のチェックボックス(□)にチェック(✓)し、在学していた学校に届出てください。

8. 在学猶予取得年数について

2020年3月以前に取得(承認)された在学猶予年数にかかわらず、2020年4月以降に適用可能な

在学猶予取得年数は通算10年(120か月)までとなります。

9. 在学届の提出先について

在学している学校(奨学金担当)に提出してください。